

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3770102824
法人名	株式会社ケアサービス長谷川
事業所名	グループホームミモザ
所在地	香川県高松市新田町甲2181-1 (電話)087-844-8775

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年6月18日	評価決定日	平成21年9月25日

## 【情報提供票より】(21年5月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 3月 16日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	21人 常勤 4人, 非常勤 17人, 常勤換算 6.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り
	1階建て

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他の経費(月額)	18,500円+実費	
敷金	(有) 200,000円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400円	昼食	650円
	夕食	600円	おやつ	円
または1日当たり		1,650円		

### (4) 利用者の概要(6月2日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.3歳	最低	71歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ふじさわ医院 屋島伊藤クリニック はた医院 渋谷歯科医院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高松市郊外の静かな田園に囲まれた木造平屋の建物が落ち着いた趣を感じさせるホームである。広い敷地には外庭・家庭菜園・中庭があり、四季それぞれの風情をあげわう散歩を楽しむことができる。施設内もゆったり、明るく開放的で、職員は一人ひとりの利用者の立場に立ち、言葉かけや対応に配慮し、意欲的に介護していこうという姿勢がうかがえる。医療機関との連携も確保されていて、安心した生活を送れる体制が整っている。また、遠方の家族とはホームページから個人のパスワードを使って家族のみが閲覧できるシステム作りがなされている。地域に根ざした介護サービスを目指し、展開している事業所である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で課題となった評価の意義と理解と活用、家族等への報告、食事を楽しむことのできる支援など、具体的に解決出来るところから取り組み、解決への努力がうかがえる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の実施意義を十分に理解し、職員の意見も反映させながら、管理者がまとめるという形式で取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催されホームの現況、活動が報告されている。各出席者からの提案・情報提供・地域イベントの紹介など多岐に渡って情報交換を行い活発な活動がうかがえる。次年度より民生委員の参加も予定されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時を利用して、家族に健康状態やホームでの生活状況等を報告して、家族からの意見や要望を聞いている。得られた情報は朝礼・終礼を利用して全職員に伝え共有し、対応や改善に取り組んでいる。また、遠方の家族とはホームページに個人ごとのパスワードを入力すればその家族のみが閲覧できるシステムがあり、いつでも・どこからでも日常の様子を知ることができ好評である。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に入っており、地域のイベントに参加したり、近隣の方々が菜園の手伝いや、さまざまな特技を持って気軽に訪問している。日常的な地域との交流を大切に取り組み交流を深め広めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	創設者の思いに基づいた地域密着型サービスを目指した理念が掲げられ、地域で暮らし続ける支援に取り組んでいる。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者や職員は理念を共有し、毎日の朝礼・終礼時には日々の実践について、情報交換や意見の交換が行われている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入したり、ボランティアの訪問をはじめ地域のお祭りなどの行事に参加し、いろいろな場面で地域との関わりを重視する事業所の姿勢がうかがえる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は自己評価・外部評価の実施の意義を十分に理解し、職員の意見も反映させながら、評価を行っている。	○	職員は自己評価に対し、意見を述べているが、今後も職員全員が評価の意義・必要性を十分に理解し、自己評価に関わり、日々のサービス向上に活かし、質の確保につなげることを期待したい。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催されている。参加メンバーの人々が運営推進会議の意義や役割を理解して、グループホームの取り組みや現況について、意見交換を行い、サービスの質の向上に生かしている。次年度はメンバーに民生委員の参加も予定されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に出席してもらったり、機会ある毎に市町村担当者と連絡を取り、情報提供を受けてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に詳しく報告しているが、面会の少ない家族には定期的に電話で報告したり、また緊急時には電話で速やかに連絡している。会社報で毎月のホームの様子を伝えたり、遠方の家族の希望者にはホームページにパスワードを入力すれば利用者の様子を知ることが出来るサービスも実施している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時・家族会・運営推進会議などで意見をもらい、対応・改善している。家族会の重要性を感じており、従来の方法でなく新たな形でご家族の意見を引き出す工夫を検討し、試みが予定されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	企業としてのローテーションを取り入れているが、利用者の立場を十分考慮して馴染みの関係に影響が少ないように、配置や連絡調整を行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者が職員育成を認識して取り組んでいる。会社全体では定期的に計画・実施されている。今後各事業所での勉強会、研修会の実施を検討している。	○	研修を受講しやすい状況を作り出し、職員にフィードバック出来るシステムが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協議会には入会していないが、研修会の参加時には交流の機会ととらえ、同業者と連携を深めるよう取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族からの相談を受け、本人・家族の方々にホームの見学に来所してもらい詳しく説明をし、また管理者やケアマネジャーは病院・自宅等への訪問を行い納得された上で利用開始へとつなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個性を大切に、利用者の立場に立ち、人生の先輩として言葉かけや、対応に配慮しながら、共に学び楽しめるような関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活を共にする中でおのずとわかってくることを朝礼などで職員が話し合い、利用者の思いや意向を把握共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャーが利用者・家族と話し合い、職員からは朝礼・終礼を利用して情報を収集し、計画作成するようにしている。職員が直接作成に参加していない現状である。	○	本人や家族の意向をふまえ、各専門職の職員が意見を出し合って、カンファレンスを行い、利用者本位の介護計画が作成されるよう期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアマネジャー・管理者により、毎月モニタリングが実施され、必要時は職員の情報を得て、介護計画は見直されている。	○	介護計画の遂行状況・効果などの評価が介護計画の見直しのためにとどまらず、日々のケアにつながるよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医受診支援・買い物の要望など必要な支援は柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院体制は確保されている。本人や家族の希望により、かかりつけ医受診支援・連携等を個別に対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化している中で現在対象者(見取りの症例)はいないが、「ターミナルケアの指針」を作成し、できるかぎり本人や家族の希望に添えるよう方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法を定めその規程に基づき対応している。日々の生活の中でも一人ひとりへの言葉かけや支援は誇りやプライバシーを損なわないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせ、声かけや見守りの中でその人らしく過ごせるよう配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	企業内の管理栄養士によるメニューでホーム内で調理がされている。利用者は食材を切る音・匂いなど五感を楽しむことができる。手作りのおやつを作ることもある。下膳の出来る人は手伝い、職員の見守りや声かけで、一人ひとりのペースで食事ができている。	○	今後も食事はメニュー作りから後片付けまでの一連に生活能力を踏まえうえで声かけや場面作りの工夫が必要であると思われる。また、職員が同じ食卓を囲んで、同じものを楽しく食事できるような雰囲気作りが期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望・体調に合わせて毎日昼間は介助入浴ができる準備があり、午後は特殊浴も支援されている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や能力を活かして、洗濯物たたみ、玄関の花を生けたり、また菜園の収穫など一人ひとりに合わせた得意分野での楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出支援の必要性を理解して、散歩や買い物に利用者の希望に合わせてなるべく出かけるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の鍵をかけないで支援していくことが常態化している。利用者の安全に配慮して玄関にはチャイム・センサーが設置されているが、目を離さない介護の姿勢がうかがえる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練・消防訓練を利用者も参加して実施、指定場所への避難完了時間も記録している。スプリンクラーや自動火災報知器等の設備が整っていて、緊急連絡網も備わっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士により献立を作成している。ミキサー食・きざみ食の対応もされていて、食事摂取量は毎回チェック・記録され、職員が情報を共有している。水分補給についても利用者に合った水分補給が配慮されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広い共用空間は中庭に面しており、植栽などから季節感を感じることが出来る。また、玄関には生花が入れられ、レクリエーション時に作成した作品も飾られている。空調も保たれ、落ち着いた居心地のよい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居室は利用者の生活に応じた、使い慣れた家具・日用調度品が置かれ、居室環境をその人らしいものに整えている。		